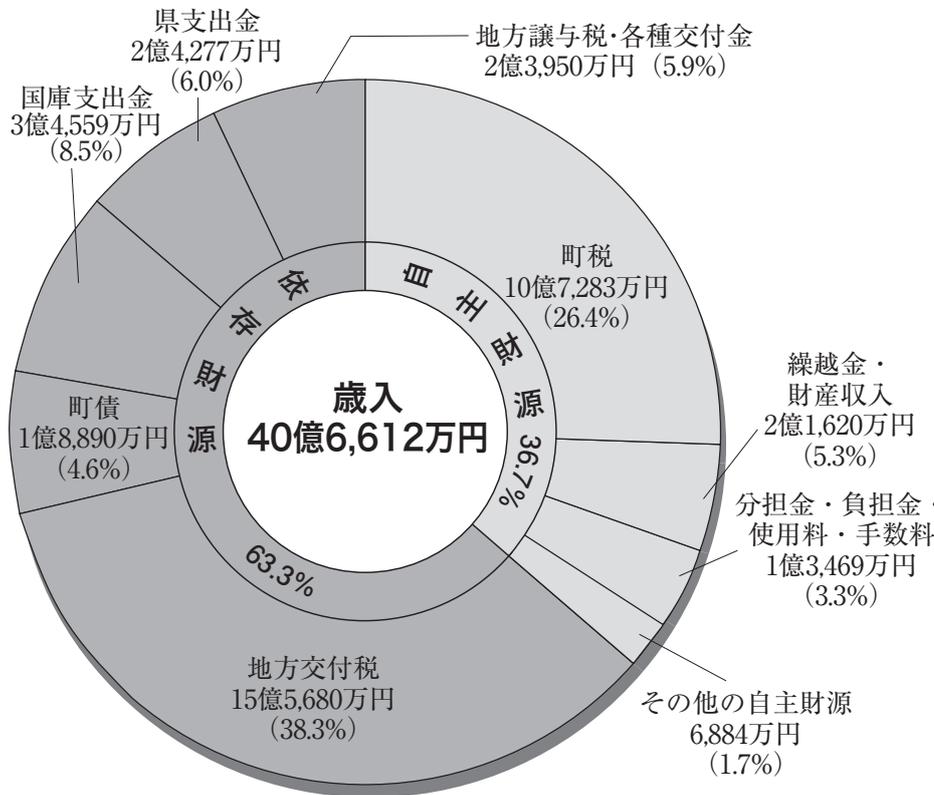


平成28年度 決算報告

平成28年度は、①楽しく子育て・元気で長生き対策②安全・快適なまちづくり③教育・文化・スポーツの推進④豊かな自然と産業が活きづくまちづくり⑤地域コミュニティの推進と町財政の健全化の5つを重点施策に掲げ、「夢を育める安全で安心な快適なまち」の実現に取り組みました。



一般会計決算額

| | |
|----|------------|
| 歳入 | 40億6,612万円 |
| 歳出 | 39億8,514万円 |
| 差引 | 8,105万円 |

歳入

歳入は、大きく分けて自主財源と依存財源に分けられます。自主財源では住民税、固定資産税などの町税が、依存財源では地方交付税が大きな柱となっています。歳入全体では前年度と比べて3億3,457万円の減でした。

町税は、町民税及び町たばこ税の減収により494万円の減となりました。また、国庫支出金は、年金生活者等支援臨時福祉給付金国庫補助金の皆減等により7,184万円の減となりました。町の借金である町債は、臨時財政対策債や消防団施設整備事業債の減等により76,000千円の減となりました。なお、前年度に引き続き、町の貯金にあたる基金からの繰り入れは行いませんでした。

歳出(重点施策ごと)

■楽しく子育て・元気で長生き対策
平成28年度も、従来に引き続き子育て支援に力を入れました。新たな取り組みとして、学童保育所の保護者負担金(月額6,000円)の無料化を開始し、これに1,094万円を支出しました。また、障害者自立支援給付費負担金も増になりました。これらを含め、民生費は12億9,964万円、全体の32.6%となり、歳出で最も多くの割合を占めています。

■安全・快適なまちづくり

緊急車両・通行不能区間解消への取り組みや橋りょうの点検などが進み、土木費は5億2,670万円となりました。また、消防団再編強化の一環として、第2分団詰所の建設、第2分団

■豊かな自然と産業が活きづくまちづくり

皆野駅前には町内の飲食店が集まる「皆野横丁」実施のための補助金を、商工費から200万円支出しました。また、有害鳥獣対策として、農林水産業費から防護柵設置費補助金や駆除委託料、捕獲事業従事者補助金、猟友会への補助金として、172万円を支出しました。

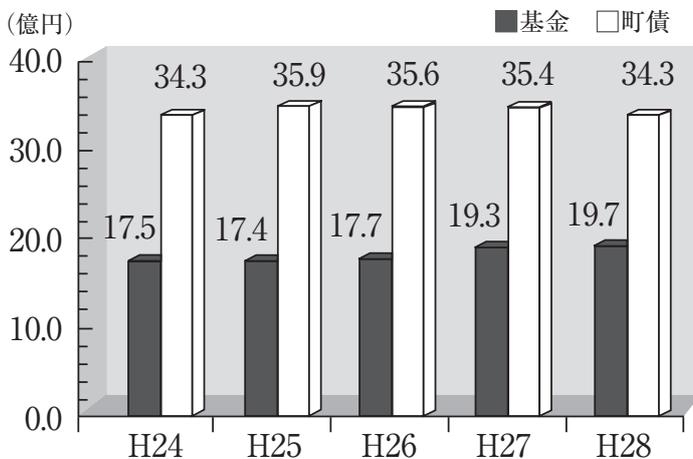
■教育・文化・スポーツの推進

グローバル教育の一環として、多様な英語教育に取り組みました。幼稚園への英語の非常勤講師配置や、小学校低学年向けの英語水泳教室「プールでEnglish Time」の実施、中学生への英語検定受験料の補助など、グローバル教育に係る事業分として教育費から108万円を支出しました。また、3年ごとに実施しているドイツ・ビュアシュタット市交流事業の補助金として、同じく教育費から242万円を支出しました。

■地域コミュニティの推進と町財政の健全化

平成28年度から水と緑のふれあい館をシルバー人材センターの指定管理へと移行しました。年間362万円の委託料を支出しました。

基金と町債残高



基金は貯金を、町債は借金を示します。平成28年度は、平成27年度と比べ基金は増、町債は減となりました。